

## 医療機関のスタッフならびに患者のみなさまへ

このたび、慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座と東邦ホールディングス（株）は共同で、患者さまのよりよいお薬の治療を実現するために、以下の研究（医薬品卸の marketing specialist (MS) により収集された薬剤切り替え情報の解析）を実施いたします。

- この調査では、東邦薬品株式会社の MS が医療機関の医師や薬剤師などの先生方から聞き取ったりご提供いただいた情報にもとづき、どのようにお使いのお薬の変更（切り替え）が行われているかやお薬の変更（切り替え）による影響を調べます。
- この調査では、2013年5月～2017年9月の期間に蓄積された以下の情報を使用します。
  - ・情報提供者の職種（医師、薬剤師、その他）＜提供者の医療機関名は受け取りません＞
  - ・患者情報（性別、年代、治療中の病名）[お名前や住所は含まれません]
  - ・使用製品（切り替え後の製品）情報（メーカー名、製品名、一般名、薬効群、用法・用量、使用開始日）
  - ・併用薬情報（併用薬の有無、製品名、メーカー名）
  - ・有効性情報（適応外使用の有無、効果発現日、改善した病名・症状、事例の具体的内容、切り替え前の製品名、一般名、改善度〔著効・有効・やや有効・無効〕＜報告者の主観による評価＞）
- この研究に用いるデータには、個人を特定できる情報は含まれません。（MSによる情報の聞き取り時点で、既に匿名化されています）

＜本研究に関わるその他の事項＞

- ・慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座と東邦ホールディングス（株）は本調査と関連したテーマで共同研究契約を締結しています。本研究の費用の一部は共同研究費で支出されます。
- ・本研究から知的財産権が発生する可能性はありません。

過去の記録をもとにした調査ですので、医療機関の皆さまや患者さまにご負担が発生することはございません。

この調査によってお薬の切り替えパターンを明らかにすることで、患者さまのよりよいお薬の治療の助けとなり、最適な医療を実現するうえで大変重要な調査だと考えております。

この調査は、慶應義塾大学薬学部の人を対象とする研究倫理委員会で十分検討され、承認されております（承 180925-1）。

2018年10月

東邦ホールディングス株式会社  
慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座

研究責任者：慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座 堀 里子  
連絡先 e-mail: druginformatics\_AT\_gmail.com (ATは@に変換)